

(様式第4号)

### 川西地域協議会 会議概要

1 審議会名	第2回川西地域協議会
2 日時	令和元年9月24日 午後1時30分から午後2時40分まで
3 会場	川西地域自治センター まちづくり活動拠点会議室
4 出席者	赤羽武幸会長、内山正雄委員、小田朋香委員、神田けさ江委員、久保田直子委員、栗林一夫委員、今佐津雄委員、佐藤有紀委員、白鳥隆夫委員、田村実英委員、西澤仁史委員、吉見理恵子委員、塩本幸子委員 計13人
5 市側出席者	宮下センター長、上原地域振興政策幹、酒井係長、小山主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年10月3日

### 協議事項等

- 1 開 会
- 2 あいさつ(赤羽会長)
- 3 事務局からの報告(欠席者7人、会議成立、傍聴者0人)
- 4 会議事項
  - (1)連絡事項等
    - ・前回会議記録 承認
  - (2)協議事項
    - ア 地域協議会の見直し(案)について  
議題を提出した市民参加・協働推進課による説明が冒頭に行われた。  
課題として、特に上田地域は活動が停滞していること、委員が団体推薦のため役員の負担が大きいことなどから、旧上田市の6つの協議会を統合して一つにして、委員の数は20人とすることを提案する。  
<意見>  
(委員)選出方法はどうするのか。  
(担当課)選出母体等詳細はまだ確定していない。人数的には各地区3名程度と思われる。  
(委員)一本化した場合、市街地地域と農村部では地域課題が違う。不都合はないのか。  
(担当課)多くの地域に住民自治組織ができ、そちらでも地域の課題等が議論されていることもあり、段階的に地域協議会を縮小していくという内容で、提案させていただいている。  
(委員)住民自治組織、自治会連合会、地域協議会の位置づけをもっと明確にしてもらいたい。  
(担当課)最もわかりにくいといわれている住民自治組織であるが、来年度を目途に正式な位置づけをしようと考えている。  
(委員)地域の意見を反映できる委員の選出方法にしてもらいたい。  
(担当課)男女の比率も考慮しつつ、ご意見を踏まえた選出方法としたい。  
(委員)要望であるが、市から依頼される役職が非常に多く、宛て職でくるものも多い。地域協議会もそうである。貴課が旗振り役となり、市の地域に依頼する役員の整理統合を図ってもらいたい。  
(担当課)当課と行政管理課で検討しているところである。  
(委員)各地域3人程度というのはまだ決まっていないということではよろしいか。  
(担当課)全ての地域協議会への説明がまだ終わっていないことと、各協議会から提出される意見書の内容によっても結論は変わってくることから、未定である。  
(委員)新しい委員の選出には時間がかかるので、年内には結論が出るのか。  
(担当課)10月中には結論を出したいと考えている。

イ わがまち魅力アップ応援事業について

(事務局) 今回の募集に対し、川西地区では応募がなかった。 了承

ウ 川西まちづくり計画について

(事務局) 川西まちづくり委員会の「まちづくり計画」が、市の第一次総合計画の「地域まちづくり方針」と全く同じであることが判明。実施主体が違うのに計画が同じなのはおかしいので見直しをするものである。まちづくり組織で検討された最終案を、地域協議会にも提案し、承認を得る形式をとりたい。 承認

(3) その他

次回の協議会の開催期日 10月29日(火)

5 閉 会